

## [046] 語文研究表紙奥付等

<http://hdl.handle.net/2324/10226>

---

出版情報：語文研究. 46, 1978-12-01. 九州大学国語国文学会  
バージョン：  
権利関係：



# 語文研究

第四十六号

昭和五十三年十二月

初期義太夫節における詞の意義……………横山 正(1)

安吾文学と矢田津世子……………花田 俊 典(9)

——二人の出会いを中心として——

『都氏文集』の諸本について……………中 條 順 子(18)

大藏流狂言の待遇表現について……………坂 口 至(30)

——述部の体系——

形態アクセント論的一考察……………木 部 暢 子(41)

——複合語アクセントと語構成・連濁をめぐって——

紹介

中野三敏著『近世新崎人伝』……………白 石 良 夫(50)

九州大学国語国文学会